

ごあいさつ



経営管理委員会会長
大島 信之



代表理事理事長
材木 洋幸

当会は、昭和23年の設立以来、佐賀県内のJAと一体となり、農業専門金融機関として農業の発展と農家経済の向上を図るとともに、地域金融機関として地域社会・地域経済の繁栄に貢献すべく歩んでまいりました。本年で創立75周年を迎えることができましたのも、ひとえに皆さまのご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

本年も当会の業務内容や活動状況などについて、皆さまにご紹介するため「ディスクロージャー誌」を作成し、お手元にお届けすることにいたしました。この冊子により、皆さまの当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、今日の事業を取り巻く環境について、農業面においては、ウクライナを始めとする国際情勢の変化を背景に「食料・農業・農村基本法」の見直し検証がスタートされ、「食料安全保障」の機運が高まりを見せております。

また、肥料・農薬・エネルギー価格の高騰等による農業所得の減少が続いており、JAグループに対する農業所得増大・農業生産拡大に向けた取り組み支援と、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合としての一層の役割発揮が強く求められております。

金融面においては、利用者目線に立った金融サービスの普及やマネロン対策の拡充も含め、地域金融機関としての役割と機能を発揮するとともに、農業をはじめ地域経済の安定化に向けた取り組みの実践が強く求められております。

さらに、SDGs（持続可能な開発目標）・サステナブル経営やESG（環境・社会・企業統治）投資等をはじめとする環境・社会に配慮した取り組みが世界規模で求められており、JAバンクとしても社会的使命の一つとして果たすべき優先事項となっております。

このような情勢の中、当会では不断の取り組みとしてJA自己改革を実践し、農業とくらしを支え地域に選ばれ続けるJAバンク佐賀の実現を基本目標に掲げた「JAバンク佐賀中期戦略」の達成に向けた事業を展開するとともに、「持続可能なJA経営基盤の確立に向けた事業変革支援」、「長期安定的な収益還元に向けた収益基盤の強化」を基本方針に掲げた「第14次中期経営計画（令和4年度～令和6年度）」の中間年度として、将来にわたる安定的な事業基盤の確立に向け、役職員一丸となって取り組み続けることとしております。

今後も当会は、永年にわたって培った地域の皆さまとの信頼関係を基盤に、JAの総合力を発揮しながら、農業メインバンクとして、また、地域のメインバンクとして役割を果たすとともに、引き続き信頼される金融機関であり続けるため、利用者保護態勢等の拡充に努めるとともに、法令等を遵守するなど、コンプライアンス態勢の拡充等に取り組んでまいり所存でございます。

皆さまのご理解となお一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月

経営管理委員会会長 **大島 信之**
代表理事理事長 **材木 洋幸**